

令和元年度第2回 足立区地域包括ケアシステム推進会議 次第

日 時 令和2年2月7日（金）
午後1時30分～午後3時00分
会 場 足立区役所中央館8階 特別会議室

【報告事項】

1 令和2年度介護予防事業等の再編成について【資料1】

2 令和2年度地域包括支援センター業務内容の変更について【資料2】

3 令和元年度地域包括ケアシステム推進会議各部会からの報告について【資料3】

各部会に分かれての意見交換

※部会に属していない区職員の委員は、所管関連部会に加わっていただきます。

【検討内容】

（1）今年度部会での議論の振り返り

（2）他の部会の検討内容との関連性の検討

ア 他部会の報告をふまえてさらに検討が必要な事項

イ 他部会との連携が必要な事項

足立区地域包括ケアシステム推進会議報告資料

令和2年2月7日

件 名	令和2年度介護予防事業等の再編成について
担 当	福祉部 高齢者施策推進室地域包括ケア推進課
内 容	地域包括支援センター（以下「センター」という）の業務内容を見直し、令和2年度からの介護予防教室の外部化及び生活支援体制整備事業について報告する。 1 介護予防事業 （1）外部化の目的 地域包括ケアシステムビジョンに示された、センターの「高齢者支援体制強化・平準化」の視点から実施する。 ア センター業務の見直しに伴う、令和元年度まで実施していた介護予防教室の外部化 イ センター間での事業均質化と質の向上 （2）外部化する事業 プロポーザル方式により事業者を決定し、以下の内容を区内全域で実施する。 ア 健康活動の自主グループ化を支援する教室 イ 介護予防サポーターを養成する研修 ウ 体力測定会 （3）外部化・再編に際しての考え方 予防・生活支援に必要な要素を盛り込み、自主活動化へ誘導を行う ア 介護予防に必要な3要素「運動」「口腔・栄養」「社会参加」の定着化 イ 自身の状態の把握 ウ 自主活動化への誘導 （4）今後の課題 ア 介護予防への取組の継続性 地域で楽しみながら健康づくり（介護予防）をしている高齢者に対し、モチベーションを継続させる仕組み（個人、自主グループ等） イ 互いに支え合う（地域づくり）意識の醸成と活動できる場所の確保 ・高齢者自らが担い手となる必要がある周知活動（広報、イベント等） ・自主的、継続的な活動を支援するため、公的な施設以外の場所 2 生活支援体制整備事業（第二層生活支援コーディネーター） 令和2年度からの介護予防教室外部化とあわせて、各地域包括支援センター圏域に生活支援コーディネーター機能を配置する。 （1）目的 多様な日常生活上の支援体制の充実強化と高齢者の社会参加の推進

	(2) 基盤整備に向けた取り組み ア 生活支援コーディネーター機能の配置 第一層：市町村区域で、主に資源開発（不足するサービスや担い手の創出・養成、活動する場所の確保）の中心 （基幹地域包括支援センターに5名を配置） 第二層：日常生活圏域（足立区では地域包括支援センター圏域）で、地域づくりにおける具体的な活動を展開 （令和2年度から各センターに配置） イ 協議体の設置 多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携強化の場 (3) 第二層生活支援コーディネーターの業務 ア 地域の支援ニーズと地域資源のマッチング 実態把握等により、地域の実情を踏まえて支援ニーズを掘り起こし、その人のニーズに合ったサービスを案内する。 例：『運動を一人では続ける自信がない人に自主化を支援する教室を紹介する』『仲間がほしい人に通いの場を紹介する』など イ 通いの場等の把握 本人のニーズに合った地域資源を案内するため、訪問等により通いの場等の資源把握のリストを作成する。 ウ 地域の担い手の発掘と育成 実態把握等により、地域の担い手または担い手となり得る人材を発掘し、その人に合った活躍の場を案内する。 例：『元気で活躍の場を求めている人に、介護予防サポーター養成研修、生活支援サポーター養成研修、ボランティア等を紹介する』など エ 通いの場の創出への支援 運動に加え口腔・栄養に関する知識等も学ぶことのできる総合的なプログラムを経て「気軽に通える範囲に、運動のできる通いの場」を創出することを目指す。 オ 通いの場の継続支援 新たに立ち上がった通いの場や既存の通いの場へ出向き、企画・運営等の助言を行う カ 第二層協議体の設置 定期的な情報共有及び連携・協働による取り組みを推進するため、地域住民を中心とした、地域におけるコーディネーターや生活支援・介護予防サービスの提供主体等のネットワークを構築する。
問 題 点 今後の方針	1 介護予防への取組の継続性 2 互いに支え合う（地域づくり）意識の醸成と活動できる場所の確保 3 住民主体サービス導入の方向性

足立区地域包括ケアシステム推進会議報告資料

令和2年2月7日

件 名	令和2年度地域包括支援センターの業務内容等の変更について
担 当	福祉部高齢者施策推進室地域包括ケア推進課
内 容	令和2年度から予定している地域包括支援センター(以下「センター」)の運営体制及び業務内容の強化等について、以下のとおり報告する。 1 センター体制の強化について (1) 現 状 センター運營業務は、区から法人等へ委託しており、職員配置人数や増員は受託法人等の権限であり、委託元の区から強制はできない。 (2) 内 容 地域包括ケアシステムの中核的な機関であり、早期発見・早期対応に向け業務内容や高齢者人口等に応じた適正な人員体制を構築する。 ア 人員配置基準を作成し、センター毎に適正な人員が配置できる契約内容・金額へと変更する。 イ 適正な評価の前提となる適正な人員配置をふまえ、センターの事業評価を実施し、質の向上及び業務改善に取り組む。 2 業務内容の一部見直しについて (1) 現 状 ・支援の必要な高齢者へのコンタクトが遅れ、現状の回復が困難なケースが見られる。 ・総合相談支援事業（訪問事業等）の実施状況に差が生じている。 ・地域住民や関係機関と連携した地域づくりが出来ていない。 (2) 内 容 ア 後追い支援から予防的支援（早期発見、早期対応）へ 少しでも早い段階から高齢者へアプローチするために、介護予防チェックリストで抽出された対象者への訪問事業をセンター職員全体で実施するなど、実態把握件数の増を目指す。 ① 支援が必要な方 自立期をできる限り長く保つために、必要な支援や地域資源へのつながりを早期に行う。 ② 地域活動へ意欲のある方 他者や社会との接点の確保ときっかけづくりとして、地域リーダーやサポーターとして活躍の場へとつなげる。

	イ センター業務の一部外部化 これまでセンターが実施していた「介護予防教室」「包括らくらく教室」の外部化により生じた人員を、総合相談支援事業へとシフトする。
--	--

足立区地域包括ケアシステム推進会議各部会報告資料

医療・介護連携推進部会

令和2年2月7日

第1回 令和2年2月3日 午後2時00分から午後4時00分
足立区役所中央館8階 特別会議室

1 出席者

山中部会長、花田委員、浅野委員、結城委員
千ヶ崎地域包括ケア推進課長、澤田地域包括ケア推進課係長
※傍聴者 なし

2 検討事項

(1) 部会の目的及び検討事項の確認

新たな部会の運営方針と（仮称）江北健康づくりセンター整備に向けた諸課題の検討を行っていく旨を説明、確認した。

(2) （仮称）江北健康づくりセンターの整備について

ア 医療・介護連携の支援機能の構築に向けた検討

新施設の必要な機能及び、具体的な医療、介護、地域包括支援センターへの支援等について意見聴取した。

イ 医療・介護連携センター機能構想（案）

医療介護連携機能、研修機能の集約に向けた意見聴取した。

ウ 在宅療養支援窓口、高齢者虐待の対応、基幹地域包括支援センター、権利擁護関係所管が統合され、一体的となることに期待との意見を得た。

(3) 課題点

- ・ 連携とは仕組みの連携ではなく、地域での暮らしを続けるために必要な機能を繋ぐことと捉えるべき
- ・ 「連携センター」という名称は、区民本位から少し外れる気がする
- ・ ケアチームの専門職同士が情報共有できる仕組みが欲しい

第2回 開催日、内容は未定

1 検討予定事項

- ・ 多職種連携研修、スキルアップ研修の実施についての意見聴取
- ・ 医療・介護情報提供システムの運用拡大（実際に画面を見ながら意見聴取を行う）について
- ・ （仮称）医療・介護連携センターの名称の検討（他自治体のネーミング例を参考に示し検討する）
- ・ 梅田モデル事業でのICTを活用した情報連携（MC S／メディカルケアステーション）試験運用結果の検討

【今後の方針等】

医療・介護の連携を高めるため、各職種から施設の機能や役割に対する意見をいただき、施設の構想や設計へ反映させていく。

足立区地域包括ケアシステム推進会議各部会報告資料

介護予防・日常生活支援総合事業推進部会

令和2年2月7日

第1回 令和元年9月20日 午後2時00分から午後4時00分
ギャラクシティ3階 多目的室

1 出席者

諏訪部会長、結城委員、中村委員、倉澤委員、中島委員、
鵜沢委員（オブザーバー）、大竹委員（オブザーバー／今後正式に部会員の予定）
千ヶ崎地域包括ケア推進課長、傳野地域包括ケア推進課係長
※傍聴者 なし

2 情報提供

- (1) 国の動き
- (2) 足立区がすすめていく介護予防事業と生活支援体制整備事業
- (3) 第1層・2層コーディネーターについて

3 検討事項・課題点

- (1) 通いの場・居場所づくりの課題整理、優先順位
特に通いの場の確保が難しいとの意見あり。具体的な場所が案として出され、会場として使用できるのか、会場費がかかる等の課題を踏まえ、会場の確保に努めるべきとの意見が出された。
- (2) 生活支援コーディネーターに期待することは何か
通いの場での資源把握の必要性、関係づくり、自然と集まりすすめる会議体の必要性、高齢者の事業だけではなく様々な視点で子どもも含めた地域づくりについて、話題が出た。生活支援コーディネーターの役割が話し合いの中から確認できた。

第2回 令和2年1月30日 午後2時30分から午後4時30分
ギャラクシティ3階 多目的室

1 出席者

諏訪部会長、太田委員、結城委員、中村委員、倉澤委員、中島委員、
大竹委員（オブザーバー／今後正式に部会員の予定）
千ヶ崎地域包括ケア推進課長、傳野地域包括ケア推進課係長
※傍聴者 1名

2 情報提供

- (1) 第1回 部会の振り返り
- (2) 一般介護予防教室管理運営業務委託事業者選定委員会 結果報告
- (3) 介護予防・生活支援サービスについて（総合事業、生活支援サポーター養成研修）

3 検討事項・課題点

今後の住民主体サービス導入の方向性について（人材の確保について）他

- ・ 足立区は、緩和型のサービスAだけではなく、住民主体サービスのBについても開発と検討すべきと意見が出された。また、自主的な介護予防に取り組む住民のインセンティブについても要望あり。
- ・ 令和2年度は、第2層生活支援コーディネーターの取り組み状況を確認する。第2層生活支援コーディネーターには第1層協議体に参加してほしいと要望あり。

【今後の方針等】

令和2年度に予定されている介護予防事業の再編について、事業実施状況をふまえて意見をいただき、見直しを図っていく予定。

足立区地域包括ケアシステム推進会議各部会報告資料

認知症ケア推進部会

令和2年2月7日

第1回 令和元年12月23日（月）午前9時30分から11時30分
足立区役所中央館8階 特別会議室

1 出席者

栗田部会長、永田副部会長、久松委員、伊藤委員、松井委員、
千ヶ崎地域包括ケア推進課長、岡崎地域包括ケア推進課係長
※傍聴者 5名

2 検討事項

東京都の補助事業（3年限度／年5,700万円上限）である「認知症検診推進事業」について、足立区では、どう既存の事業と組み合わせ実施するのが最も効果的なのか議論した。

委員からは、この事業の課題は散見されるものの、早期発見や予防の観点から、一定の意義があると認められるが、実施可否及び手法は慎重な検討を要するとの意見があった。

3 課題点

（1）専門医の量の不足（専門医：検診後、認知症の診断を行う医療機関）

検診医（検診を実施する医療機関）の検診で認知症が疑われた場合、次に専門医の診断が求められるが、想定される患者数に対して、専門医の数が大幅に不足していると思われる。専門医の診断を受けず、検診医による認知症進行抑制薬処方などの対応だけでは不適切である。

（2）個別検診後のフォロー体制の不足

認知症と診断された人だけでなく、潜在的に支援が必要な人は相当数存在する。2次予防の観点も踏まえ、受診者全体をカバーできるフォロー体制の構築が求められる。

（3）財政措置

東京都の補助年限は3年間で、高齢者の増に伴い受診者数が増加していく中で、今後も継続的に区が財政措置を行えるかは不明確。

（4）地域包括支援センター業務量の増

検診やフォローにおいて、地域包括支援センターの関わりが一定程度求められるが、高齢者の増に伴う業務量増の中で、包括の業務負担をなるべく増やさない工夫が求められる。

（5）既存事業との住み分け

板橋区は、既存のもの忘れ相談事業への影響が懸念されることから、実施を見送った経緯がある。効率的な事業実施の観点から、既存事業との融合・統合という視点が求められる。

【今後の方針等】

専門医の量的課題、財政措置の可否、フォロー体制構築等を中心に、予防の観点も踏まえた上で、検診の実施方法について引き続き検討する。

足立区地域包括ケアシステム推進会議各部会報告資料

高齢者の住まいの事業推進部会

令和2年2月7日

第1回 令和元年11月26日 午前11時00分から正午
足立区役所中央館8階 特別会議室

1 出席者

酒井部会長、小川副部会長、白川委員、風祭委員、神山委員
結城委員（オブザーバー）

千ヶ崎地域包括ケア推進課長、片岡地域包括ケア推進課係長、大越住宅課係長

※傍聴者 1名

2 検討事項

高齢者の住宅確保に向けたあり方の検討の方向性

3 第1回部会での検討から導き出された到達点

- ・ 検討の方向性は、民間住宅の活用を検討の柱とする。
- ・ 公営住宅は、民間住宅に居住できない方のセーフティネットの役割を担う。
- ・ 具体的な取組みは、次回以降の部会で検討する。

第2回 令和2年1月21日 午後1時15分から午後3時15分
足立区役所南館12階 1205A会議室

1 出席者

酒井部会長、小川副部会長、白川委員、風祭委員、茂出木委員、神山委員
結城委員（オブザーバー）

千ヶ崎地域包括ケア推進課長、片岡地域包括ケア推進課係長、大越住宅課係長

※傍聴者 なし

2 検討事項など

- ・ 他自治体の取組み状況の情報共有
- ・ 高齢者の住まいに関する実態の把握

3 第2回部会での検討から導き出された到達点

- ・ 都営住宅申込者への聞き取り調査の調査内容
- ・ 不動産事業者やオーナーへの調査手法及び調査内容（継続検討）

【今後の方針等】

住み替えを希望する高齢者や不動産事業者から意見を聴取することで、高齢者の住まいに関する課題を整理するとともに、課題解決に向けた具体的な支援策を検討していく。

足立区地域包括ケアシステム推進会議委員名簿

「医・介」 ＝ 医療・介護連携推進部会
「総合」 ＝ 介護予防・日常生活支援総合事業推進部会
「認知」 ＝ 認知症ケア推進部会
「住まい」 ＝ 高齢者の住まいの事業推進部会

「長」＝部会長 「副」＝副部会長 「○」＝部会員

※ 敬称略、順不同

令和元年11月26日現在

番号	役職	氏 名	フリガナ	選出団体名	所属における役職 等	部会			
						医・介	総合	認知	住まい
1	会長	諏訪 徹	スワ トオル	学識経験者	日本大学 教授		長		
2	副会長	白川 泰之	シラカ ヤスキ	学識経験者	日本大学 教授				○
3	副会長	酒井 雅男	サカイ マサオ	学識経験者	弁護士				長
4	副会長	山中 崇	ヤマナカ タカシ	学識経験者	東京大学 特任准教授	長			
5	副会長	永田 久美子	ナガタ クミコ	学識経験者	認知症介護研究・研修東京センター 研究部長			副	
6	副会長	栗田 圭一	アリタ シュイチ	学識経験者	東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長			長	
7	委員	高田 潤	タカダ ジュン	足立区医師会	会長	副			
8	委員	太田 重久	オオタ シゲヒサ	足立区医師会	副会長		○		
9	委員	久松 正美	ヒサマツ マサミ	足立区医師会	理事			○	
10	委員	花田 豊實	ハナダ トヨミ	足立区歯科医師会	理事	○			
11	委員	鈴木 康大	スズキ ヤスヒロ	足立区薬剤師会	理事	○			
12	委員	小川 勉	オガワ ツトム	足立区介護サービス事業者 連絡協議会	会長（訪問介護部会長）				副
13	委員	鶴沢 隆	ツザワ リュウ	足立区介護サービス事業者 連絡協議会	居宅介護支援部会長	○			
14	委員	浅野 麻由美	アサノ マユミ	足立区介護サービス事業者 連絡協議会	訪問看護部会長	○			
15	委員	倉澤 知子	クラサワ トモコ	足立区介護サービス事業者 連絡協議会	通所介護部会長		○		
16	委員	伊藤 俊浩	イトウ トシヒロ	特別養護老人ホーム	社会福祉法人聖風会 業務執行理事			○	
17	委員	尾上 太	オノウエ タイ	介護老人保健施設	千寿の郷 事務長			○	
18	委員	茂木 繁	モエギ シゲル	東京都宅地建物取引業協会 足立区支部	副支部長				○
19	委員	風祭 富夫	カザマツリ トモオ	全日本不動産協会東京都本部 城東第一支部	支部長				○
20	委員	松井 敏史	マツイ トシフミ	認知症疾患医療センター	センター長			○	
21	委員	大竹 吉男	オオタケ ヨシオ	足立区ボランティア連合会	会長		○		
22	委員	中島 毅	ナカジマ ツヨシ	足立区シルバー人材センター	理事		○		
23	委員	中村 輝夫	ナカムラ テルオ	足立区老人クラブ連合会	ねんりん編集委員長		○		
24	委員	茂出木 直美	モエギキ ナオミ	足立区民生・児童委員協議会	第五合同江新地区会長				○
25	委員	足立 義夫	アダチ ヨシオ	足立区町会・自治会連合会	綾瀬地区町会自治会連合会会長			○	
26	委員	大高 秀明	オオタカ ヒデアキ	足立区社会福祉協議会	事務局長				
27	委員	結城 宣博	ユキキ ノブヒロ	足立区社会福祉協議会 基幹地域包括支援センター	地域支え合い推進員	○	○		
28	委員	秋生 修一郎	アキウ シュウイチロウ	区職員	地域のちから推進部長				
29	委員	中村 明慶	ナカムラ アキヨシ	区職員	福祉部長				
30	委員	今井 伸幸	イマイ ノブユキ	区職員	衛生部長				
31	委員	成井 二三男	ナカイ フミオ	区職員	建築室長				
32	委員	神山 和洋	カミヤマ カズヒロ	区職員	都市建設部住宅課長				○
委員人数						7	7	7	7